

## 家族の要望を東京都に提出しました！ 主な要望内容について報告します

シュロの会会長 植松和光

9月2日(月)に都庁において東京都福祉局及び関係部局と東京都教育委員会と東京つくし会からの要望について意見交換会を行いました。

### ◆思春期における精神疾患の早期発見のために

(1) 中学生を対象にした精神疾患を理解する内容のパンフを毎年作成してください。

(2) 児童・生徒の状況を身体・健康面、心理面等の観点から捉え把握することなど教職員の支援力をつけるための研修の機会を増やしてください

(3) 障害者週間に、一般都民に精神疾患に対するの偏見をなくし、正しい理解を得るための講演会やYouTubeでの動画配信など工夫した取り組みを行ってください。

(4) 都が配置している東京都公立学校のスクールカウンセラー常勤化してください。

### 【理由】

東京都においては、小学校から中学校において、授業の中で精神疾患に関する正しい知識や対応の仕方を学べるようにしてください。

・精神疾患は早期発見、早期治療が大変有効です。身近な家族、教職員、友人等が早く気づくことによって適切な対処ができます。そのために多少の知識が必要ですので精神障がい的事を書いたパンフレットを作成し、配布してください。

・スクールカウンセラーについては東京都公立学校会計年度任用職員として採用しており、単年度任用となっています。

### ◆精神科休日夜間救急診療について

(1) 民間精神科病院群で構成される輪番制の担当地域を複数に分割してください。

(2) やむを得ず、家族が患者の移送のため、民間の護送サービスを利用せざるを得なかった場合には、都において移送利用料金を補助してください。

### 【理由】

民間精神科病院群で構成される輪番制は、当番病院が都内全域を担当し、患者移送が遠方に及ぶことがあるため、家族は大変な思いをしています。少しでも身近な地域に移送できるよう担当地域を複数に分割してください。分割が困難な場合は、都立病院が現在の措置入院だけでなく、一定の条件（当番病院が遠方で患者移送が出来ない等やむを得ない場合に限り）の下に医療保護入院も柔軟に受け入れるようにしてください。

また、やむを得ず、家族が患者の移送のため、民間の護送サービスを利用せざるを得なかった場合には、都において利用料金を補助してください。民間移送会社を利用すると10万円から数十万円もかかる場合があります。家族にとっては相当の負担になります。

### ◆参加者感想◆

私達は精神症状を考える場合、脳の機能が不具合を起していると多くの場合信じています。そして、抗精神薬等多くの薬は脳の中枢に作用して精神症状は治まる(緩和される)と一般的に信じています。確かに多くの場合、薬の処方には必要ですが、薬治療が万能であると信じてよいのでしょうか。人間の身体はそのような狭義のものでは計り知れないものがあるのかもしれませんが。

今回の糸川先生の講演では、脳だけでは説明出来ないものが人にはあるのではないかとということを経験を通して説明して頂けたと思います。それは、「こころ」という言葉で説明されているようでした。脳とこころの関係について以下のような内容で表現されていました。頭蓋骨の外側の部分として、尊厳、自尊心、相手を思いやる気持ちが、当事者と周囲の方々をつなぐことになるのではないかと。こころの健康を考えた場合、それぞれの病気の症状として出てくるものは、身体(こころとつながっている?)がそれを自然治癒しようとして出てきているものであって、あつてはならないものではなく、必然的に必要なものではないのだろうか。脳に対して、調子の良い時に自分は何をしている時だったのだろうかといった「いい気持ち」の状態を覚えていくことで安定化を図る(恒常性)が大切ではないだろうか。太古の昔から、進化していく過程で脳だけは過去の記憶を器官として残しながら地層のように堆積して来ているとのこと。原始的なこころの状態を積み重ねていきながら現在の脳、こころとして進化しているとのこと。不安はつらい行動であるが、生きていくため、よりよい生活をしていく上で必要不可欠なもの。(不安は進化には必要) その人らしさ(その人の役割)が、生きていく上で大切である。



精神疾患の治療には、長い道のりを経ることが必然的になっている。それは、現状への復帰を目指しながら、治療の過程でそれが難しいと分かってきた時、これまでとは違った場所や形で復帰していく通過儀式的、本人の物語を紡いでいくようである。こころは、脳やヒトだけに限らない。モノや場所にも宿るもので、「たましい」という言葉で表現されるのではないかと。(T.K)

当日は、大変な猛暑だったのにかわらず、たくさんの方々にお越しいただきまして大変感謝しております。糸川昌成先生には、脳と心の違いについて大変分かりやすく、かつ、温かい言葉でお話しいただきました。ありがとうございました。(丸山)

【講演会アンケート集計結果】～ご協力ありがとうございました～  
集計数47枚 回収率 47/80×100=58.75%

1) 今回の講演会を何で知りましたか。

・シュロの会会報7・シュロの会ホームページ8・チラシ10・つくしだより6・くにたち市報6・サクラ会会報2・立川麦の会2・国分寺あゆみ会ニュース3・掲示版5・練馬すすり会1・小金井あじさい会1・サンクラブ多摩会報1・八王子家族会会報1・配偶者情報1

2) どちらの地域から参加しましたか。

・国立市14・立川市3・府中市1・国分寺市4・小金井市1・三鷹市2  
・福生市1・町田市1・八王子市3・東大和市1・狛江市1・稲城市1  
・小平市2・東村山市1・新宿区2・練馬区3・墨田区2・台東区1  
・北区1・中野区1・中央区1  
・アンケートに記名 24名(名前、住所、メールアドレス等)  
・質問票 18枚



参加者の熱中症をご心配されながら、また、しゃべりっぱなしの先生ご自身も暑かったそうで・・・恐縮です。質問票にも大変丁寧にご回答いただき、ありがとうございました！！

# 交流会・サロンの案内

10月 交流会のご案内	
日時	10月13日(日) 午後1時30分～午後4時
会場	くにたち福社会館 3階小会議室
内容	ビデオ鑑賞：ハートネットTV 「身体拘束のない国へ ニュージーランドからの報告」

10月 円グループ・シュロの会サロン	
日時	10月27日(日) 10:00-12:00,13:30-15:30
場所	くにたち駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ
内容	(午前) 交流 (午後) 家族相談※相談には予約が必要です 植松 ☎080-1211-6898

11月 ミニ交流会のご案内	
日時	11月24日(日) 午後1時30分～午後4時
会場	くにたち駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ
内容	シュロの会だよりの発送の後、困りごとのあるご家族の相談を話し合います。ご参加をお待ちしております。

「くにたち駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ」への行き方  
→JR中央線 国立駅北口より  
徒歩約1分  
JR中央線高架橋下に位置しております。  
改札口を出た後、新宿方面へと高架橋沿いをお進みください。

## 事業所 見学 報告

去る7月19日(金)、NPO法人多摩草むら会の事業所「夢畑」「畑deきっちん」の見学に行ってきました。参加者は8名、社用車で案内して頂きました。

「夢畑」農作物の生産、販売。朝礼見学後、各施設を案内して頂く。スタッフの指導のもと、畑で野菜の生産、しいたけの栽培、野菜の袋詰め等を行っている。

「畑deきっちん」ココリヤ多摩センター内にある採れたて野菜のレストラン。

「夢畑」産等の地場野菜を使って提供している。美味しいランチを頂きました。

昼食後、社会福祉法人草むらにて、代表理事の風間氏より多摩草むらの会の取り組みの説明を受ける。平成16年NPO法人多摩草むらの会発足、以降各種の事業所を立ち上げる。

様々な事業の連携から、多様な特徴を持つ利用者のニーズに適合した事業を行っている。現在の通所者は480名とのこと。

好奇心を持ち続け、いつも前向きに頑張っている風間氏の姿勢に元気を頂きました。同年代の我々も見習って行きたいと思います。

ますますのご活躍を期待しております。

一日お付き合い頂いた事務局の澤様、藤岡様ありがとうございました(上野)



今回、夢畑を見学させていただいて福祉の枠を超え、障がいがあっても依存する事なく自立の理念のもとで経営しているとの説明を受け、本当に素晴らしく思いました。

農福連携と6次産業化への取り組みに特に感銘を受けました。生きにくさを抱えていても自然が相手であれば太陽の恵みの中で伸びのびと生きていける気がするのですが、都市ではとても難しいと思います。

草むらの会が手本となり事業としてどんどんひろがっていくと良いなと心から思います。Y・I

NPO法人多摩草むらの会の見学に参加させて頂きました。草むらの会は歴史も古く、事業も多種類展開しているということで以前から関心がありました。

当日まず、農業を見学(夢畑事業所と広い畑)→移動して、多摩センター駅ビル商店街の中にある草むらの会経営のレストランでランチを頂く→午後は、本部に移って草むらの会代表の方々と懇談会という行程でした。印象に残ったのは、畑の担当の方が「有機JAS規格に通りました！」と胸を張って仰っていたことです。中々難しい規格らしく、実績なども問われ大変だったとのこと。

日本は諸外国に比べ農業が多く使われていると聞いたことがあるので、障害者の作業所で安全な野菜が作られるなんてすごいこと。私までとても嬉しかったです。もっと広がってほしいです。

また、「働くことは夢を追うこと」と言う言葉。自分のやりたい仕事を意欲をもってやるのが大事、と言う代表のお話には感動しました。

最後に、ハウスで栽培されている肉厚の椎茸、とても美味しそう。八王子の賞をもらったそうですね。準備してくださった関係者の皆様、シュロの会の方々、どうもありがとうございました。(O)

NPO法人くさむらの会の農場見学に参加しました。

連日の猛暑と早朝の集合で少々不安でしたが、多摩センター駅にお迎えの車が来て系列のレストラン、本部事務所、帰りの駅と回って頂き助かりました。

農園では朝の朝礼でその日の自分の体調に合わせた作業、休憩を決めた健康的に日焼けをした30人程の人がテキパキと仕事をこなしていて、100種類もの有機野菜、花をプライドをもって作りスーパーや道の駅で販売しているとのことでした。

作業にきている人の意欲、自主性を大事にしている事業所だと感じました。実際の事業所を初めて見学ができて貴重な1日でした。(高橋)



### 講演会のご案内

講演会	双極性障害 病状と治療
講師	精神科医・大泉病院 塚本 一帆先生
日時	10月12日(日)
主催	新宿フレンズ
会場	新宿フレンズのホームページで 確認して下さい
問合せ	

講演会	精神科医療における薬物治療 (仮題)
講師	公益財団法人住吉偕成会理事長、 昭和大学薬学部病院薬剤学講座 客員教授 吉尾 隆先生
日時	11月21日(木) 13:00~15:00
会場	町田市原町田4-24-6 せりがや会館4F 第1会議室
主催	町田さるびあ会
問合せ	さるびあ会事務所 ☎ 042-726-2031

### 【編集後記】

走馬灯の様に脳内を流れます。40年ほど前、国立南口のバイオリン教室に通っていたこと。その十数年後、実力もないのに「好き」だけでバロックアンサンブルに入団し、北口の練習場に通ったこと。病院恐怖症の娘が抜歯に選んだ歯科、職場同僚のお勧めの Powers Stone 店、療育手帳の成人更新も国立障害者センター、そしてシュロの会。住んだことはないけれど数年毎に国立へ。不思議なご縁があった様です。

糸川先生のユタの話や脳と心の話をもっと詳しく知りたいです。記憶の継承や幻覚の仕組み、健康を左右する心の原理等です。アニメ「攻殻機動隊」の電腦社会でのゴーストも心の一部でしょうか。連日の暑さに、脳はぼんやり過去を思い出したり、取り留めのないことを考えたりしています。(K)